

2 級

答案用紙

第1予想

平成 26 年度
第137回 日商簿記試験対策
ラストスパート模試

(午後 1 時30分開始 制限時間 2 時間)

(実際の試験では以下の文言が記載されています。)

受験者への注意事項

1. 答案用紙は、持ち帰りできませんので必ず提出してください。持ち帰った場合は失格となり、以後の受験をお断りする場合があります。
2. 答えは定められたところにていねいに書いてください。
3. 答案の記入にあたっては、黒鉛筆または黒シャープペンを使用してください。



<http://www.net-school.co.jp/>

©Net-School

受験番号 _____

氏名 _____

生年月日 _____

× (コヨトジル) ×

平成26年度 ラストスパート模試・第1予想

第137回対策 答案用紙

2 級 ①

商業簿記

採点欄	
第1問	

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1				
2				
3				
4				
5				

採点欄	
第2問	

平成26年度 ラストスパート模試・第1予想
第137回対策 答案用紙

受験番号 _____

氏名 _____

生年月日 _____

× (ココヲトジル) ×

2 級 ②
商業簿記

第2問 (20点)

問1 ①垣花商事株式会社：社債の帳簿価額

¥

②藤巻商会株式会社：満期保有目的債券の帳簿価額

¥

問2 ①垣花商事株式会社：社債の帳簿価額

¥

②垣花商事株式会社：社債利息の金額

¥

問3 ①垣花商事株式会社：社債償還損益の金額

¥

②垣花商事株式会社：社債利息の金額

¥

※損の場合には数値の前に「△」を付しなさい。

問4 ①藤巻商会株式会社：有価証券評価損益の金額

¥

②藤巻商会株式会社：売買目的有価証券の帳簿価額

¥

※損の場合には数値の前に「△」を付しなさい。

受験番号

氏名

生年月日

×

(コヨトジル)

×

平成26年度 ラストスパート模試・第1予想

第137回対策 答案用紙

2 級 ③

商業簿記

採点欄

第3問

第3問 (20点)

損益計算書

自平成25年4月1日 至平成26年3月31日

(単位：円)

I 売上高		()	
II 売上原価			
1. 期首商品棚卸高	()		
2. 当期商品仕入高	()		
合計	()		
3. 期末商品棚卸高	()		
差引	()		
4. 棚卸減耗損	()		
5. 商品評価損	()	()	
()		()	
III 販売費及び一般管理費			
1. 給料	504,000		
2. 保険料	()		
3. 旅費交通費	271,000		
4. 水道光熱費	162,000		
5. ()	()		
6. 減価償却費	()		
7. 修繕引当金繰入	()		
8. のれん償却額	()		
9. 貸倒損失	()	()	
()		()	
IV 営業外収益			
1. 受取利息	()		
2. 有価証券利息	4,000		
3. 受取配当金	12,000	()	
V 営業外費用			
1. 社債利息	()		
2. 有価証券評価損	()	()	
()		()	
VI 特別損失			
1. 固定資産除却損		()	
税引前当期純利益		()	
法人税、住民税および事業税		()	
()		()	

採点欄	
第4問	
第5問	

平成26年度 ラストスパート模試・第1予想
第137回対策 答案用紙

受験番号 _____

氏名 _____

生年月日 _____

× (ココヲトジル) ×

2 級 ④
工業簿記

第4問 (20点)

仕 掛 品		(単位：円)
前月繰越 ()	製 品 ()	
当月製造費用	次月繰越 ()	
直接材料費 ()		
直接労務費 ()		
製造間接費 ()		
計 ()		
()		()

製 品		(単位：円)
前月繰越 ()	売上原価 ()	
仕掛品 ()	次月繰越 ()	
()		()

第5問 (20点)

第1工程完成品総合原価		円
第1工程月末仕掛品原価		円
第2工程月末仕掛品原価		円
完成品総合原価 A製品		円
完成品総合原価 B製品		円
完成品単位原価 A製品		円
完成品単位原価 B製品		円

合格アシストノート

第1予想 第3問

解き方

Step1: まずは[資料II]の「未処理」・「未記帳」の仕訳をします。

Step2: 決算整理事項の仕訳をします。

Step3: Step1、Step2を基に答案用紙に記入します。

II-2. 備品の除却時

過年度の	平成24年3月31日: ¥320,000×20%	= ¥()
減価償却計算	平成25年3月31日: {(¥() - ¥()}×20%	= ¥()
	除却資産の減価償却累計額⇒ 計	¥()
当期の減価償却費	平成26年3月31日: {(¥() - ¥()}×20%	= ¥()

III-2. 売上原価の計算および商品の評価

原価	期末商品棚卸高 ¥()	
@¥()	商品評価損 ¥()	棚卸減耗損 ¥()
正味売却価額	B/S商品 ¥()	
@¥()	数量 ()個 ()個 ()個	(実地) (帳簿)

III-5. 社債に関する処理

(1) 償却原価法(定額法)

発行差額: ¥() × $\frac{① ¥() - ② ¥()}{③ ¥()}$ = ¥()

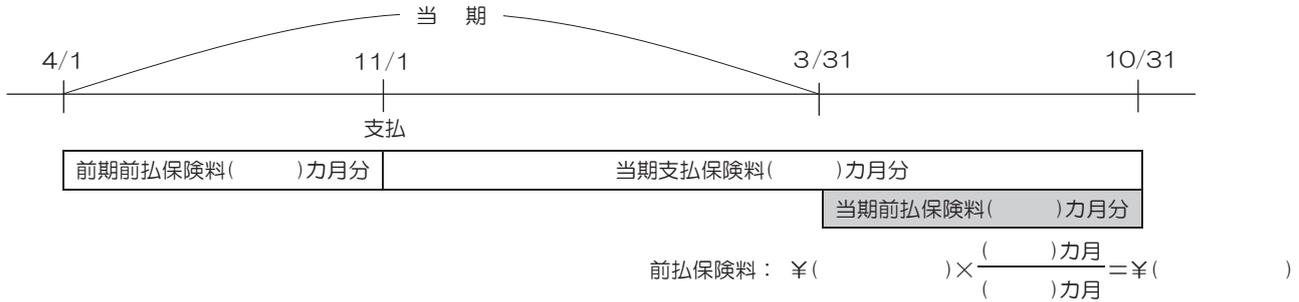
償却原価法による加算額(償却額): ¥() × $\frac{() \text{力月}}{() \text{力月}}$ = ¥()

III-6. のれんの償却

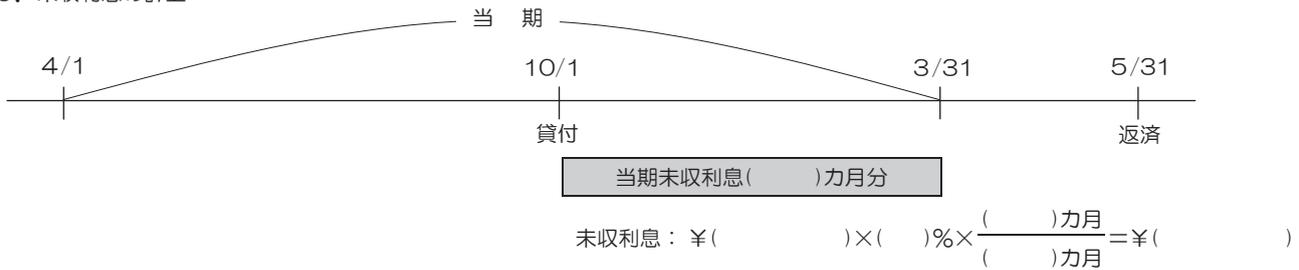
決算整理直前におけるのれん勘定の残高を、残り()力月にわたり償却

のれん償却額: ¥() × $\frac{() \text{力月}}{() \text{力月}}$ = ¥()

III-7. 前払保険料の計上



III-9. 未収利息の計上



合格アシストノート

第1予想 第5問

第5問

解き方

- Step1: 第1工程と第2工程の生産データを整理するため、計算用紙にボックス図をつくります。
- Step2: Step1の図に月初仕掛品原価、当月製造費用の原価データを記入します。
- Step3: 各完成量に等価係数を掛けた積数の比で各等級製品に按分します。
- Step4: Step2、Step3を基に答案用紙に記入します。

第1工程：平均法				第2工程：先入先出法					
	月初	4,600 個	完成	29,200 個		月初	2,800 個	完成	28,000 個
()円	()円	()円	()円	()円	} ()円 } ()円	()円	()円	()円	()円
()円	()円	仕損 900 個	()円	()円		()円	()円	()円	()円
()円	当月	()個	()円	月末	} ()円 } ()円	当月	()個	月末	()円
()円	()個	()個	()円	2,400 個		()円	()個	4,000 個	()円
			()円	()円	原料β			()円	()円
			()円	()円				()円	()円

完成品総合原価の各等級製品への按分

等価係数を使って積数を算定し、完成品総合原価を積数の比で各等級製品に按分します。

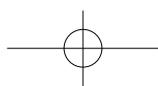
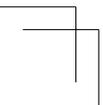
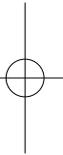
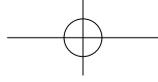
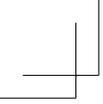
製品A：()個×1 = ()	製品A：()円×() = ()円
製品B：()個×0.8 = ()	製品B：()円×() = ()円
計	

各等級製品の完成品単位原価を計算します。

製品A：()円÷()個 = ()円/個
製品B：()円÷()個 = ()円/個

計 算 用 紙

半分に切ってお使いください



計 算 用 紙

半分に切ってお使いください

